



SESERAGI—MISHIMA
ROTARY CLUB
WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2013～2014年度 RI会長 ロン D. バートン

RIテーマ Engage Rotary Change Lives ローターリーを实践しみんなに豊かな人生を

クラブテーマ「初心にもどり自分とクラブを見つめ直そう」会長 山本良一

副会長 矢岸貞夫 幹事 加藤正幸

第1164回 例会
2013.12.13(金)曇

司会:石井和郎君 指揮:小島 真君
ロータリーソング「我等の生業」

事務所 三島市中央町1-9 小野住環中央町ビル2F
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 ブケ東海三島

TEL.055-984-0120
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 山本良一君

12月も中旬となり今年もあと半月余りとなりました、先週はクラブ年次総会があり次年度の理事役員が決定しました、いよいよ矢岸年度のスタートとなります。また来週はクリスマス家族会が開催されご家族とともに楽しい例会を過ごすことができると思います。



12月に入りますと建設業界だけでなく全ての産業において「年末年始無災害運動期間」となります、年末年始を迎える時期となり、労働災害の多発が懸念されます。これから迎える年末年始は何かと慌ただしい時期であり、普段の作業や生活リズムが変わりやすいことに加え、事業場、職場が一斉に操業を停止・開始する際や大掃除の際等に通常では行なわない作業が多くなります、一年の締めくりである年末年始および新年のスタートである年始にかけて労働災害防止の運動を展開することにより、災害ゼロの職場をめざす期間であります。

伊豆縦貫道・東駿河湾環状道路のうち、三島塚原IC—函南塚本IC間6.8キロの開通について国土交通省沼津河川国道事務所が12日に来年2月11日の「建国記念の日」と発表した。2013年度中としてきた開通日を「河津桜まつり(2月5日～3月10日)のピーク前に」という伊豆各地の観光関係者の要望に応え可能な限り前倒しの開通となりました。来春の三島塚原IC—函南塚本IC間の供用に伴い、県道路公社が運営する有料道路「伊豆中央道」と「修善寺道路」を経て、伊豆縦貫道「天城北道路」大平ICまで、自動車専用道路が一本の線につながる。これにより、三島・沼津市街地の慢性的な渋滞を回避し、大平ICから東名・新東名まで30分程度で到達する。地元皆さん待望の開通日が決定しました、伊豆地域の更なる経済の発展が期待されます。



出席報告

	出席総数	出席率	マークアップ	修正出席率
前々回	28/33	84.85%	31/33	93.94%
今回	29/33	87.88%	会員総数	34名

欠席者 あなたが見えなくて残念でした。
岡君、杉山(順)君、服部君、山口(雅)君

ようこそせせらぎ三島
ロータリークラブへ

小川隆洋君(沼津柿田川RC)
千葉慎二君(三島西RC)

おめでとう

入会記念日 12月22日 兼子悦三君
12月27日 矢岸貞夫君

幹事報告

幹事 加藤正幸君

①IMの件 1/25(土) 御殿場高原ホテル・

<日程>・

受付 12:30～・

開会 13:20～・

懇親会 17:00～18:30・

集合 12:00 楽寿園正門前予定・

②次週クリスマス会・

駐車場満車予定の為、別エリアあり・

③例会後、25周年運営委員会開催・

卓話

記憶と認知症について

根津延和君

記憶のメカニズムについては記憶物質によって脳内に蓄えられている説と神経回路により電氣的に保存されている説の2つが考えられているが、どちらかはまだはっきりしていない。分子生物学の進歩で色々な事が分かってきたが、どちらも関連している可能性が高い。記憶物質というものがある可能性は低いですが記憶が脳内に保存される時に働く遺伝子や情報を細胞内に伝える酵素やタンパク質などが存在する証拠はあり物質が関与しているのは確かである。又、神経回路を形成して記憶を保存している証拠もある。神経回路を形成するに当たり神経細胞から突起が出て他の神経細胞とシナプスを形成するのにタンパク質の変化が必要となりこれにも遺伝子とタンパク質などの物質が関与している。記憶のメカニズムが解明されるのにはまだ時間がかかりそうである。

記憶が障害される病気に認知症がある。高齢化に伴い患者数は増加している。認知症は症状の総称で色々な病気で起こるが最近特に多いのはアルツハイマー型の認知症である。原因についてはまだ不明である。以前よりアルツハイマーになった人の脳を調べるとβアミロイドとタウ蛋白という物質が神経細胞内に貯まるのが原因と思われてきた。しかし、最近の治療を前提とした試験でβアミロイドを除去する方法が行われたが症状の改善が見られなかった事より直接の原因ではないと思われるようになってきている。新しい研究の方法としてiPS細胞を使う事が出来るようになり、アルツハイマーの患者さんからの細胞より神経細胞を作成し細胞内で起こる変化を調べることが出来るようになって来た。近い将来、原因が解明されるかもしれません。最近のデータでアルツハイマーのiPS細胞で細胞が障害されるのは細胞内でタンパク質の合成を行っている小包体の膜の炎症が起こるといふ事実があり、治療薬にはならないが膜の炎症を抑制すると言ふことより健康食品のDHAが多少効果があるかもしれないと言われている。

今日の料理



岩手県大槌町教育委員会よりお礼状が届きました。

せせらぎ三島ロータリークラブ 様

謹啓

師走の声を聞き、にわかにあわたしくなっただけでまいりましたが、せせらぎ三島RCの皆様には益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、本日は一足早い心温まるクリスマスプレゼントを頂きありがとうございました。教育委員会職員みんなで、おいしいミカンを味わいながら、世の気ぜわしさや忙しさを一時忘れ、ホッとする時間を過ごすことができました。発災から1000日の時間が流れ、津波浸水区域外には家が建ちはじめましたし、市街地の試験盛り土も始まって、少しずつではありますが復興の槌音が響いてきています。とは言え、厳しい環境には変わりなく、子どもたちも仮設の校舎での学習や部活動を余儀なくされています。このような状況の中でも、皆様のご支援のもと子どもたちは、いま置かれているそれぞれの場で2学期の学習のまとめに精一杯がんばっております。

末筆ながら、せせらぎ三島RC皆様の御健勝と御多幸をお祈り申し上げますとともに、心温まる御支援に衷心より感謝申し上げお礼のご挨拶といたします。

どうぞ、よいお年をお迎えください。

謹白

平成25年12月4日
岩手県大槌町教育委員会
教育長 伊藤正治



スマイルボックス

片野誠一君：先週の例会欠席のため、杉山隆君に卓話をお願い致しました。ありがとうございました。

田中錦城君：朝のウォーキング始めて2か月頑張りました！風邪予防に体力UP！

矢岸貞夫君：12/15～12/31年末の交通安全県民運動です。期間中は充分ご注意ください。三島市は死亡事故現在唯一450日間ゼロです。

